





事業番号	06 01 02	事業改善シート（令和元年度実施事業分） 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検 <input checked="" type="checkbox"/>			
事業名	環境保全研究所費	部局	環境部	課・室	環境政策課
		実施期間	H7 ~	E-mail	kankyo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備 4-4 生命・生活リスクの軽減	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり	4-5 地球環境への貢献		

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 ・行政検査や一般依頼検査の実施 ・生活環境の保全及び保健衛生の向上に関する調査研究の実施 ・サイエンスカフェなどを通じた研究成果の県民への提供 【目指す姿】 ・迅速で正確な検査により行政のバックアップを行う ・行政課題を反映させた調査研究を実施する ・県民に開かれた信頼される研究所 【実施内容】 ・安茂里庁舎：生活環境の保全、感染症や食中毒、食品の安全性等に関する試験検査及び調査研究 ・飯綱庁舎：自然環境の保全、気候変動影響及び適応策等に関する調査研究、環境学習											
	指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]											
	No.	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
	1	環境保全等に関する研究数	23件	23件→	23件→	25件	未達成		予算額	前年度繰越	0	0
	2	公開講座、セミナー及びシンポジウム件数	27件	27件→	26件↘	27件	未達成			現計予算	80,957	83,700
	3	外部評価で「概ね適切である」以上の評価の割合	100%	100%→	100%→	100%	達成			合計(A)	80,957	83,700
	4									うち一般財源	60,049	58,604
									決算額(B)	76,575	75,513	
								職員数(人)	59	59		
成果指標設定理由	1 長野県の豊かな環境の保全と保健衛生の向上を図るため研究を実施しており、研究数は研究の活性度の指標になる。 ※目標値：2件増加（前年度実績を基に、課題数の増加を期待して設定） 2 県民参加による環境保全や保健衛生の向上等の推進のためのイベントを実施しており、開催数は推進度の指標となる。 ※目標値：前年度実績に基づき設定 3 外部の委員による評価により、研究所の事業や研究内容が県民の安心・安全につながっているか判断する指標になる。 ※目標値：前年実績に基づき設定（外部評価に当り、「概ね適切である」以上の評価を受けるべきとの考えから）											
達成状況の分析	1 外部資金(環境省推進費等)を予定していた研究について、採択されなかったため、目標を下回っている。 2 シンポジウムの開催が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、目標より1減となっている。 3 外部評価において、研究所の業務(事業)や各部における調査・研究内容が「適切である」との評価を受けている。											

主な取組	行政からの依頼による試験検査や調査研究等の実施 ・環境部門では河川や湖沼の水質モニタリング、大気常時監視、廃棄物処分場調査、生物多様性の保全に係る研究などを実施。 ・保健衛生部門では感染症や食中毒発生時等の原因究明、食品中の残留農薬等の検査などを実施。 ・近年では、新型コロナウイルス感染症に係る遺伝子解析検査や、福島第1原発事故に係る放射性物質検査を実施。	 遺伝子解析検査	 放射性物質検査
	信州気候変動適応センターの設置 ・平成31年4月、環境エネルギー課と当研究所に共同設置 ・長野県における気候変動の研究とそれに基づく適応策の促進を担っている。	 サイエンスカフェ	 サイエンスカフェ

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	課 題 等	今後の方向性
	・行政施策の立案の科学的裏付けや危機管理事象の原因究明調査のため、高度な検査が求められているが、それに対応する技術力の維持や、測定機器の老朽化などの課題がある。 ・その時々行政課題やニーズに則した調査研究の実施が求められている。 ・当研究所の実施している業務や調査・研究の成果について、県民に開かれた信頼される研究所とするため、広くわかり易い情報発信が必要。	・高度化する検査に対応した技術を維持するため、国などが主催する研修等への積極的に参加や、OJTによる技術の継承を進めると共に、計画的な分析機器の更新を進める。 ・令和元年度から、翌年度に実施を予定する研究課題について早い段階から関係課等の意見を聴取し、研究課題に行政の視点やニーズを反映させる取組を継続していく。 ・サイエンスカフェや公開講座の実施、情報誌の発行など機会を捉えて広報活動を行う。

事業番号 06 01 02 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	環境保全研究所費	部局	環境部	課・室	環境政策課
-----	----------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	環境保全研究所管理費	50,474 千円	47,460 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	庁舎（安茂里、飯綱）管理経費	直接	庁舎光熱水費 燃料費 施設修繕費 等
2	庁舎（安茂里、飯綱）保守点検等委託	委託	消防施設保守点検業務 空調設備保守点検業務 電気保守点検業務 等

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	環境保全研究所研究等事業費	26,101 千円	28,053 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	研究等事業費	直接	試験研究検査用消耗品 パソコンリース料 医薬材料費 等
2	放射能調査費	直接	大気常時監視システムリース料 検査消耗品代 調査補助員賃金 等
3	放射能測定機器点検業務	委託	放射能モニタリングポスト点検 ゲルマニウム半導体検出器点検委託 β線自動測定装置点検 等